

あかひら

No.361



2018. 12

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



今後の日程(1/1~2/5)

日付	曜日	行事	日付	曜日	行事
1/1	火		19	土	☆県連雪崩講習会(初級、中級)~21日
2	水	12/31~1/6 No.234 古川 孝	20	日	
3	木		21	月	
4	金		22	火	
5	土		23	水	◎1月例会(勤労福祉会館)18:45~
6	日	☆新年山行(兜明神岳・岩神山)	24	木	1/21~1/27 No.433 岡 義博
7	月		25	金	
8	火	▲赤林山(ウィーク)	26	土	▲姥倉山(銀世界)
9	水	◎運営委員会(杜陵老人福祉センター)18:45~	27	日	◇冬山入門講座 実技(鶏頭山) ▲姫神山(名山) ▲八甲田山(銀世界)
10	木	1/7~1/13 No.382 三浦 明夫	28	月	
11	金		29	火	
12	土	▲三ツ石山(銀世界)~13日	30	水	1/28~2/3 No.455 大倉 博
13	日	▲鞍掛山(ゆうゆう) ▲箱が森(四季)~14日	31	木	
14	月		2/1	金	
15	火	1/14~1/20 No.416 福山 茂和	2	土	
16	水		3	日	▲森吉山(銀世界)
17	木		4	月	2/4~2/10 No.385 小田 嘉洋
18	金		5	火	

原稿のお願い

1月号の原稿締切り

◎ 1月 5日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前迄とします。

原稿の基準

■サイズ: A4 山行報告は必ず1ページまたは2ページで作成をお願いします。

■本文枠: 幅17cm・縦25cm または 余白: 上・下25mm 左・右20mm

■本文のフォント: 10~12ポイント、明朝体、またはゴシック体で

※編集作業中に文字化けする可能性がありますので、フォントは守ってください。

☆「かわら版」の原稿募集中! メール(原稿)のタイトルは「かわら版原稿」で送ってください☆

□送り先 ◎手書き原稿(郵送)

会員No. 357 渡部 彩子

〒020-0632 滝沢市牧野林 1047-66 TEL 090-7528-1968

◎メール原稿

会員No. 301 久保 加世子

メールアドレス k-kubo@mba.nifty.ne.jp

縦走路

私の中の山行

亀田金花

私が山行と出会ったのは去年の春でした。当時、目にした盛岡市広報のお知らせで、興味が湧きました。毎年、盛んに報道する山の遭難の中、どうして山登りの人口が全然減らないのか、その魅力はどこなのか、この疑問が主人との夜の晩酌のつまみ話になりました。そして主人を誘い山友会の初心者向け登山教室に参加しました。

この登山教室で貴重な山行知識を勉強しました。正しい知識の元で、安全な装備を身につける大切さも分かりました。その後、私たちは沢山の山友会のメンバーにがっちり前後左右を守られながら、人生初の山行に行きました。

とても優しい鞍掛山ですが、私にとっては試練の山行でした。呼吸が荒くなって、頭に血が上がって来ない、下り坂は膝が一步ごとに痛い、帰宅後は晩御飯抜きで朝まで爆睡でした。楽しむ余裕がほとんど無かったです。この時、自分の情けなさを感じました。山友会の皆さんの様に元気で強い体になりたいと思いました。

この一年、三ツ石山、姫神山、女神山、万寿山、八幡平、氷上山、田代山、稲庭岳……どんどん知らないお山と出会いました。山友会の皆さんもとても優しい方ばかりで、山行中はたくさん山のお話を聞かせていただき、またランチの時にはお漬物やお菓子が回ってきて皆さんの気配りと支えを肌を感じられました。そして素晴らしい山頂からの見晴らし、かわいらしい高山植物、また、笑い声も熊よけになることも知り、脚力も強くなり、すべて楽しい山行でした。

山行は突然、私の生活の中に舞い込んだ様からのプレゼントと感じています。生活の一部になりました。今、心の中に一つの目標があります。山友会の先輩の中村美栄子さんです。彼女のようにこれからの人生30年、元気で山行を続けたいです。

もくじ

01	今後の日程 (事務局)	12	山行報告 稲庭岳	菊地 広子
02	縦走路 「私の中の山行」	13	山行報告 裏妙義山縦走	亀田 金花 木村 一
03	運営委員会報告	15	山行報告 氷上山	小田 春美
04	事務局から	17	冬山入門講座実技講習	小原 耕
05	専門部報告	18	交流の広場	
08	県連報告			
10	今後の山行計画			
11	行ってきました			
11	志向別グループから			

2018年度 第9回運営委員会報告

■出席者：10名＋欠連絡8名/22名 2018.12.12(水)18:45～19:35 杜陵老人福祉センター

渡邊 石澤 小田(嘉) 松田(幸) 千田 古川 山田(潔) 渡部(彩) 松田(希) 岡(義)
--

【進行：渡邊】

1 会長あいさつ

11月30日の納山祭は29名と参加者は少なかったが、差入れの美味しいお酒とネパールトレッキングの動画報告などで大いに盛り上げていただいた。組織部の皆さんに感謝したい。

2 報告事項・確認事項

(1)現在の組織状況(12月7日現在)

会員数94名(男49名/女45名) 家族会員…5名 会友…6名 登山時報1月号46部

(2)各専門部等の取組状況

- ① 山行管理委員会…ヒヤリハットの報告はなかった。古参会員から20年ぶりに計画書の提出あった。
- ② 教育遭対部…1/27 冬山入門講座(鶏頭山)、1/19～20 県連雪崩講習会(初級・中級)
- ③ 組織部…11/30 納山祭に29名参加、11/28 オークション売上13,700円→会へ10,750円
- ④ 会報部…「山友」を11/30 納山祭に発行、参加者配付用の封筒を急遽コンビニで購入(反省点)
- ⑤ 自然保護部…12/1 県連自然保護集会10名参加(全体28名)、1/26 冬の自然観察会(鞍掛山)
- ⑥ 事務局…不要となった会装備の処分完了(くじ引きなく希望者に引渡し)
- ⑦ 県連報告…カレンダー50部完売(例会時)→その後希望あり次は増部検討、他は別途報告参照

3 協議・承認事項

(1)カモシカ保護地域特別調査への協力について(自然保護部)

8年毎の「北奥羽山系カモシカ保護地域特別調査」について、県教育委員会から当会あて協力依頼があり対応を協議したもの。調査内容は簡易で負担も少ないことから積極的に協力することとした。

(2)サムスプリントの購入について(事務局)

講習会用にサムスプリント4個を更新するため、恵氏ルートで格安(4,600円→2,600円)に購入できることになったが、できれば1ダース(12個)単位で買って欲しいと言われたため対応を協議したもの。装備費予算の範囲内であり、12個購入して残る8個は講習会などで希望者に売ることとした。

(3)今後のミニ講座について

12月：なし/1月と2月：総会に向けた部会検討/3月：アンナプルナ街道トレッキングの報告

(4)その他…HPブログ、あかげら「専門部ページ」の掲載内容を決定

第10回運営委員会は1月9日(水)杜陵老人福祉センターです

◆当面の予定

12月26日(水) 12月例会(勤労福祉会館)	1月9日(水) 運営委員会(杜陵老人福祉センター)
1月6日(日) 新年山行【かぶと山荘】	1月23日(水) 1月例会(勤労福祉会館)

☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月/10月	教育遭対部	5月/11月	山行企画部	6月/12月	会報部
7月/1月	組織部	8月/2月	事務局	9月/3月	自然保護部

事務局から

☆ 会員動向 (12/14 現在)

会員数 94 名 (男 49 名 / 女 45 名) 登山時報 46 部 家族会員…5 名 会友…6 名

☆ 会場の利用について

例会・運営委員会等の会場は、通常 夕方 6 時からの借り上げになっています。会議の時間までは自由に利用できますので、山行打合せ・会員の交流・情報交換などの場として利用してください。



☆ サムスプリントの販売について

サムスプリントをお分けします。

会装備としてサムスプリントをまとめて安価で購入しました。

個人の医療パック用にいかがでしょうか。

値段 ¥4,600 → ¥2,600 です。

ご希望の方は事務局までお願いします。

☆ 「山友」30号 発行について

11月30日に「山友」30号が発行されました。

既にみなさまのお手元に行っていると思いますが、もし手違いによりまだもらっていない方は事務局に連絡してください。(TEL 090-4318-5128 中村)

本日の例会進行・会場担当は 会報部です

1月の例会は 2019年1月23日(水) 勤労福祉会館 です

専門部報告

●山行管理委員会

■2018 山行リーダー会議の報告

11月28日、恒例の山行リーダー会議を開催しましたので、その概要を以下に報告します。

2018 山行リーダー会議概要（11/28）

《出席者》 中村(美)、松田(幸)、小原(耕)、小田(嘉)、三浦(明)、石澤、中村(数)、渡邊 [8名]

1 最近の山岳事故等発生状況について

(1) 全国の山岳遭難の現状(警察庁統計等)

- 全国的に、発生件数、遭難者数は増加傾向が続いている。
- 昨年度の岩手県の死者・行方不明者は11人で、東北6県で最も多かった。
- 信濃毎日新聞(10/8)の記事「増える山岳遭難」では、民間出動の救助費用が大きな負担となること、近年気がるに入れる山岳保険が増えていること、ココヘリの受信機を29道県で導入されるなど、ドローン捜索も含めて捜索機器の導入が進む傾向にある。

(2) 最近の事故・ヒヤリハットの発生状況(情報共有)

- 当会では、今年に入って6件、過去1年間で8件のヒヤリハット報告があった。
- その中で、単独行で転倒し頭を打ったものの自力で下山したもの、メガネを誤って踏みつけ破損したものの応急修理でなんとか対応したものなど、一歩間違えば下山遅れや重大事故につながりかねない事例もあった。

(3) 事故事例から学ぶ(意見交換)

- 記録に残る2002年以降の事故事例について、初めてデータベースから抽出し一覧を作成したところ30件に達していた。
- 転倒・滑落、病死、道迷い、落石、重度の凍傷など、いずれも事故防止の観点で大きな示唆を与えてくれるものばかりであり、会の財産として会員全体で共有すべきものと再認識した。

2 冬山に向けた留意点(2018版)について

～本格的な雪山を前にした留意事項の確認と徹底～

- あかげら11月号に掲載予定のものであり、冬山に入る会員は、初心者も経験者も必ず読んで、雪山のリスクの大きさと事前の対策の重要性を再認識してもらいたい。

3 その他(フリートーキング)

～日常の山行活動で感じていることなど～

- ストックの使い方がよく分かっていない会員もいるので、マナーを含めて危険防止のために基本を教えることが必要だ。
- 持病を抱える会員への対応について、山行中の発病による重大事故に繋がる恐れがある場合は、必要に応じて診断書を求めるなどの対応が必要ではないか。
- 計画書が出てきたときの水際対応は山行管理委員会だが、山行リーダーの責任としてメンバーの力量や持病等を把握し、的確な指導助言ができるようであればならない。
- 山行リーダーの指導的役割は、会員育成や事故防止に欠かせないものであり、リーダー論などの知識や技術を学ぶ機会をもっと作る必要がある。(ミニ講座など)

納山祭の報告

組織部 福山茂和

11月30日に開催された納山祭は、29名と少ない参加での開催となってしまいました。
ここ最近の参加数は

2015年：41名

2016年：62名（但し、30周年記念祝賀会を兼ね、招待客も含む）

2017年：41名と、なんとか40名以上は確保してきていたのですが、平成最後の納山祭は30名を割る結果となりました。

人数の減少が原因だけではないですが、料理数も少なく参加して頂いた方には申し訳なかったです。ルイズの営業の方とも話しましたが、やはりホテルで飲み放題付きで5千円の設定は難しく、他のホテルでは無理ではないかと言われてしまいました。

ルイズも来年の2月には閉館ですし、会費5千円を維持するのであれば、他の会場（居酒屋等）の選定が必要となってきますが、約30名（来年の予測、敗北宣言？）でテーブル席、個室となるとなかなか難しいのが実態かと思われま



なお、ここ最近続けてきたノンアルコールの設定ですが、今年は参加者も少ないため設定は取りやめにさせていただきました。全くアルコール類を飲まない方には申し訳なかったですがご了承ください。

来年の納山祭には、私の予測を超える参加者が居られることを期待して、平成最後の納山祭の報告とさせていただきます。

また、今年も川村さんからおいしい日本酒を頂きました。ありがとうございました。

オークション報告

今年は例年と異なり、オークションは11月の例会時に実施されました。9名（中村美栄子さん、加藤佳子さん、川村雅子さん、久保加世子さん、松田希さん、小田嘉洋さん、武田秀雄さん、小原耕さん、福山）の方に出品物を頂き、オークションを行った結果

売上合計：13,700円

但し、千円以上の売上げは出品者と折半のため会へは雑収入として10,750円が入りました。出品頂いた皆さん、また購入して頂いた皆さん、ありがとうございました。

●教育遭対部

・冬山入門講座 実技

森林限界を超えての冬山訓練を行います

参加は冬山入門講座の学科と実技のピッケル・アイゼン訓練を受講した方に限ります

日 時： 1月27日（日）

場 所： 鶏頭山

申し込み： 267 中村数博 090-2270-9185

締め切り： 1月20日（日）

打ち合せ： 1月23日（水）例会後

●自然保護部

1. 岩手県教育委員会「カモシカ・ニホンシカ調査」協力をお願い

岩手県教育委員会が、概ね8年に一度カモシカ及びニホンシカ生息調査を行っています。従来の林業関係者、自然保護関係者等への依頼に加えて、今回から岩手県山岳協会と山友会に協力依頼がありました。12月12日開催の運営委員会において、調査に協力することとなりました。会員の皆様の目撃情報に基づき自然保護部で調査票の回答を作成します。つきましては会員の皆様の情報提供を下記によりお願い致します。

記

- ① 調査範囲：盛岡市、二戸市、八幡平市、滝沢市、雫石町、岩手町、一戸町
- ② 調査内容：上記①におけるカモシカ及びニホンシカの目撃情報（おおよその時期と場所）
- ③ 目撃期間：2012年1月から現在まで
- ④ 情報提供先：自然保護部 大森（会員番号 No.444）
TEL：070-4016-6825 メールアドレス：omorishinji0414@gmail.com
- ⑤ 情報提供期限：平成31年1月23日（水）例会

2. 冬季自然観察会

1月26日（土）鞍掛山で自然観察会を実施します。詳細は山行計画にあります。興味のある方は奮って参加願います。

2018年度 第9回県連理事会報告

2018.12.4 (火) 19:00～花巻市学園都市会館室
出席：渡邊健治、千田勝利、村上明枝

1 報告事項

- (1) 県連ステップアップ講座 11/11(日) 場所：ビッグルーフ滝沢
3名参加(盛岡9、生協1、アウトドア7、花巻3、胆江3、釜石7、RAM2)
・中島先生の講演はレベルの高い内容を分かりやすくかみ砕いて説明していただき、内容の濃い講演だった。別の内容でも聞いてみたいとの感想もあった。実習も参考になった。
- (2) 奥羽ブロック協議会会議 11/11(土)～12(日) 秋田県連担当
平井理事長参加 青森2名、秋田1名、全国連から大沢副理事長参加
確認事項について
 - ① 奥羽B交流山行について
担当：岩手県連 日程と山域については2月の全国連盟評議会の時に話し合う。
 - ② 次回の会議について
担当：青森県連 11/9(土)～10(日) 場所は後日
 - ③ 全国連盟の補助金について
従来通り、青森県連10万円、岩手県連15万円で分け合うこととする。
- (3) 沿岸との交流山行 11/18(日) 潮風トレイル 北山崎(田野畑)
59名参加(盛岡3、生協6、アウトドア20、釜石23、宮古4、RAM3)
・階段で転倒し頭部裂傷、救急車で搬送される事故があった。搬送先の宮古病院で縫合処置。レントゲン及びCTでの検査結果、他に異常がないと診断された。
・セルフレスキューの重要性を再認識した。
・来年は宮古で泊りでやりたい→宮古労山の佐々木さん、前向きに受け止める。
- (4) 第35回岩手県登山者自然保護集会 12/1(土) 10:00-12:00 Berf仙北
28名参加(盛岡10、生協1、アウトドア11、花巻4、胆江1、釜石1)
- (5) その他
 - ① 2019年度カレンダー入荷 123部
 - ② 新日本スポーツ連盟 対県・市へのスポーツ要求について
12月中に申し入れの予定。「県立運動公園のクライミングウォールについて：今は競技専門の施設になっているが、スポーツクライミングの裾野を広げるよう、クライミング入門の壁を復活して欲しい。」旨の要求を加える。

2 協議事項

- (1) 2019雪崩講習会 2019/1/19(土)-20(日)
 - ・中級コースへの登山会員の参加が少ないのは問題。各会から指名して参加させて欲しい。
 - ・中級コース参加費¥1,200はテキスト代のみ。運営費が賄えるよう今年度は¥2,800とする。
- (2) 雪山交流登山 12/8(土)-(日) 岩手山 →今年実施しない。
- (3) その他
 - ①六甲全山縦走 2019/3/10(日) 兵庫県連から案内が来た。
 - ②パルスオキシメーターの購入について⇒特別基金の遭対予算から支出する。¥48,000
 - ③早池峰対策懇談会(小屋部会) 12/25(火)開催 八重樫理事が出席
 - ④五葉山のしゃくなげ荘 12/20から利用開始できるようにする(市長)

雪崩講習会2019

あなたは雪崩の怖さを知っていますか？



1. 日時 2019年1月19日(土)～1月20日(日)

2. 講師 ①初級コース 中山建生氏(全国雪崩講習会講師) ②中級コース 鈴木孝氏(全国雪崩講習会講師)

3. 日程&内容 ①初級コース、②中級コース *内容、実技の場所は天候等により、変更する場合があります。

	①初級コース	②中級コース
1/19(土) 机上講習	雪崩に遭わないために/雪質、雪崩/ビーコン原理(最新ビーコンの特性)/初動捜索など 13:00～17:00 ☆会場:西部公民館(大新町・駐車可)	雪崩に遭わないために/弱層テスト/雪崩ビーコンの原理・特性・機種ごとの特性/初動捜索/埋没者の捜索など ☆会場:国立岩手山青年の家(滝沢市)9:00～17:30
1/20(日) 9:00～15:00 実技講習	積雪の断面観察/積雪の層構造/雪庇の危険性/弱層テスト(ハンドテスト・ルツパ・ロックテスト)/ビーコン捜索/ ☆会場:網張キャンプ場	弱層テスト/ビーコンの実用感度の把握/ビーコンの特性把握(トリプルアンテナの特性)/埋没者の早期発見のための最新メソッド、最新レスキューなど埋没者の発見から救助までの一連の流れで/複数埋没時のビーコン捜索/

4. 留意事項

- ・実技講習参加者は出来るだけ机上講習を受講してください。実技では雪崩ビーコン、ゾンデ棒、スコップをお持ちの方は持参願います。*中級コース受講の方は、ビーコン、ゾンデ棒、スコップは必携です。

5. 募集人員 ①初級40名、②中級コース10名

6. 参加費 ①初級:労山会員 500 円・一般1千円②中級コース:会員 2,800 円・一般5千円

7. 参加申込み(締切り1月14日) *宿泊の方は+3千円(3食付)

連絡先 ①初級:平井 Tel. 090-6251-4202 ②中級:田中 Tel.090-3756-6410 *どちらもショートメール可

今後の山行計画

※ 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

実施日	山域・ルート (市町村)	企画	目的	難易度: 歩行/荷物/技術	締切日	打合場所	申込先
		問合せ	コメント		打合日時		
1月6日 (日)	兜明神岳 岩神山 (区界) (宮古市)	山行企画部	新年山行		12月22日	例会	スキー:古川孝 090-8923-3120 つぼ足:高橋陽子 080-1842-3586
		古川孝 高橋陽子	恒例の新年山行です。お昼は兜小屋でお雑煮を頂きます。		12月26日	例会で	
1月8日 (火)	赤林山 つどいの森 コース (盛岡市)	ウィークデイ クラブ	平日山行を楽しむ	★★/★/★★	1月2日	申込時に連絡	019-635-3203 (FAX可) 工藤敬子
		工藤敬子	志波三山の一山の急傾斜を登ってみましょう。		申込時に連絡		
1月12日 (土)~ 13日(日)	三ツ石山 (盛岡市)	グループ 銀世界	恒例の銀世界シーズン初めの山行	★★/★★/★★	12月30日	勤労福祉会館 銀世界定例会	090-7073-8822 305山田潔
		山田潔	網張スキー場から三ツ石山荘泊り 日帰り山行も希望あれば行きます。		1月4日(金)	18:30	
1月13日 (日)	鞍掛山 (滝沢市)	ゆうゆう	山の体づくり	★/★/★	1月5日	おでつて2F	080-6542-8871 433岡義博
		岡義博	冬山を楽しむ 相の沢~頂上~林道出合い)		1月9日(水)	18:30	
1月13日 (日)~ 14日(月)	箱が森 (盛岡市)	四季の山	里山でテント泊	★★/★★★/★★	1月6日	おでつて2F	080-1817-1506 遠藤千鈴子
		遠藤千鈴子	志波三山の一つです。		1月9日(水)	18:30	
1月26日 (土)	姥倉山 (盛岡市)	グループ 銀世界	ラッセル&滑りを楽しむ	★★/★/★★	1月19日	勤労福祉会館 例会	090-7068-1104 大峠 茂喜
		大峠茂喜	網張スキー場から行きます。姥倉山頂から豪快に滑ります。		1月23日(水)	18:30	
1月26日 (土)	鞍掛山 (雫石町)	自然保護部	冬の自然観察会		1月19日	おでつて2F	019-662-3669 (留守電) 090-7560-3669 日比野保子
		日比野保子	冬しか見れない動物の足跡、春に備える木々の様子、冬だから見られる風景、鳥のさえずり等をゆっくり観察しましょう。		1月21日(月)	18:30	
1月27日 (日)	姫神山 (盛岡市)	岩手名山歩 こう会	雪山に親しむ	★/★/★★	1月18日	おでつて2F	090-4318-5128 SNSでも 中村美栄子
		中村美栄子	冬限定?のコースを探しながら		1月21日(月)		
1月27日 (日)	八甲田山 (青森市)	グループ 銀世界	樹氷の間を滑る	★★/★/★★	1月19日	勤労福祉会館 例会	090-8923-3120 古川 孝
		古川 孝	厳冬期の八甲田に挑戦しましょう。ゴンドラから登って、酸ヶ湯までを滑りましょう。		1月23日(水)	18:30	
2月3日 (土)	森吉山 (北秋田市)	グループ 銀世界	樹氷観察スキーツアー	★★/★/★★	1月19日	勤労福祉会館 例会	090-6250-0864 小原 耕
		小原 耕	阿仁スキー場のゴンドラを降りればそこは樹氷が、そこからラッセルを楽しみましょう。		1月23日(水)	18:30	

あかげら 1月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部
No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp
までお願いします。締め切りは1月6日(日)です。

行ってきました!

〔11月19日～12月16日現在〕

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会員	分類
1	11月19日	鉢山 (465.1m)	姉吉～鉢ヶ崎～姉吉	トレーニング	L岡(義)・S山崎(祐)・高橋(徳)・太田代	4	個人
2	11月20日	朝島山	中央コース	トレーニング	L川村(雅)	1	個人
3	11月22日 ～11月24日	南アルプス(鳳凰三山)	夜叉神峠～南御室小屋～観音岳～地蔵岳～燕頭山～御座石温泉	初冬の白根三山を見に行く	L内堀・S小原(耕)・竹田(真)	3	個人
4	11月22日 ～11月25日	雲取山	三峰神社～雲取山～雲取山荘～三峰神社	雲取山登頂	L国久・遠藤(千)・近藤〔会員外〕1名	3	個人
5	11月23日	姫神山	一本杉～山頂往復	他山岳会との交流	S舟越〔会員外〕2名	1	個人
6	11月23日	五葉山	赤坂峠コース	平日山行を楽しむ	L工藤(敬)・S日比野・中村(美)・北田・本間(典)・熊谷(久)	6	志向別G
7	11月24日	物見山 (916.5m)、桧沢山 (819.4m)	物見山無線局林道～両山往復	里山に登る	L本間(典)	1	個人
8	11月24日 ～11月25日	岩手山	柳沢コース	他山岳会との交流	S舟越〔会員外〕2名	1	個人
9	11月25日	岩手山	柳沢コース	冬山トレーニング	L松田(幸)・松田(希)〔会員外〕1名	2	個人
10	11月27日	雲ノ上山 (575.8m)、白銀山 (732.4m)	磯峠～雲ノ上山往復、市道峠～白銀山往復	里山に登る	L本間(典)	1	個人
11	12月2日	氷上山	林道すずらん口～氷上山～玉の湯口	沿岸の里山を楽しむ	L小田(嘉)・S本間(典)・S小田(春)・中村(美)・石澤・日比野・熊谷(久)・北田・高橋(陽)・亀田(英)・亀田(金)	11	会
12	12月5日	女助山 (609.5m)	ケツパレランドコース	トレーニング	L岡(義)・S太田代・高橋(徳)	3	個人
13	12月6日	東根山	ラフランス口～時計回り周回コース	平日山行を楽しむ	L工藤(敬)・S級木・中村(美)・本間(典)	4	志向別G
14	12月8日	鶏頭山	岳コース	冬山トレーニング	L松田(幸)・松田(希)	2	個人
15	12月9日	兜明神岳	ウォーキングセンター～山頂手前往復	山頂手前までの初冬を楽しむ	L岡(義)・S加藤(桂)・高橋(徳)・菊地(広)・菊地(良)・太田代・吉田(成)	7	志向別G
16	12月9日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L石原	1	個人
17	12月15日 ～12月16日	五葉山	赤坂峠コース	冬の五葉山でテント泊をしよう	L日比野・S熊谷(久)・工藤(敬)	3	志向別G
18	12月16日	東根山 (928.4m)	ラ・フランスコース	トレーニング	L岡(義)・S高橋(徳)・太田代	3	個人
19	12月16日	剣長根(幸郷山～大欠山)	駐車場所～電波塔跡～幸郷山～大欠山～県道～駐車場所	近郊の山で新雪を楽しむ	L小田(嘉)・S加藤(桂)・小田(春)	3	個人

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容ください

志向別グループからの お知らせ

◆ グループ銀世界

今シーズン第1回目の打ち合わせで以下のとおり決めました。
みんなで参加しましょう。

- ・ 1月12日(土)～13日(日) 三ツ石山 (泊り&日帰り)
- ・ 1月26日(土) 姥倉山
- ・ 1月27日(日) 八甲田山
- ・ 2月3日(日) 森吉山
- ・ 2月9日(土)～10日(日) 八幡平泊り
- ・ 2月16日(土) 八幡平日帰り
- ・ 2月24日(日) 七時雨山

- ◎ 1月のグループ銀世界の定例会は1月4日(金) 18:30 勤福です。
- ◎ グループ銀世界ホームページ掲示板をご覧ください。

<http://8229.teacup.com/ginsekai/bbs>

山行報告



稲庭岳 晩秋の里山を楽しむ

310 菊地 広子

2018年11月3日(土) 快晴

コース 行程 3.5km 時間 2時間30分

駒形登山口 8:50→駒形神社 9:20→稲庭岳 10:10/30→高原広場 11:15/2:40

参加者 CL 小田(421) SL 高橋(373), 菊地(310) 会計 中村(19) 装備 大倉(455) (354)

写真 小田(385) 医療 北田(281) 気象 菊地(354) 記録 亀田(475, 476)

6時45分滝沢インター集合。二戸へ向かう。岩誦坊の清水を過ぎ、Yの形のカーブを右手にとり細い道を進むとすぐに登山口に到着。下山予定の高原登山口に車を回し、準備を整え8時50分出発。

ブナやダケカンバの茶色の落葉を踏みしめ進む。『カサコソ・・・』秋の音に耳をすます。首をあげれば落葉した木々の梢から見える青空。絶好の好天に恵まれ、空気の澄む秋の山から見上げる青空はひと際深く澄んだ青色。「下草を刈っていないので・・・」と役場から説明があったというが、風で折れた枝が多少散らばったりしてはいるものの道は判別できる。小田さんが写真を取ったり道をリードして下さったりするなか、参加者一同落葉樹に囲まれた道を文字通りの「日だまり」を満ち足りた気持ちで歩む。所々に「神社400m」などの表示板がある。道真ん中に熊の糞が！「古いね」とほっとする。程なく赤い鳥居が目に入り神社に来たと気づく。飛翔する姿の馬の石像がこんな所に、ペガサス(?)と一瞬思ったが、翼がない。当たり前だよ(笑)。神社を過ぎると落ち葉は濡れ落ち葉へと代わり脇の笹などに雪が残っている。傾斜が増してきた。山頂が近づいた。息を弾ませ頑張った金花さんへ、SL 洋子さんが先頭を譲る。♯□ 360度の眺望をおのおの楽しむ。六角の柱石が二段重ねで、上下の柱石がズレている。上の表示板に描かれた岩手山の位置があっていない。「合わせようか。」「よいしょ！」動かない。柱石をわざとずらす意匠上の工夫とわかり、苦笑した。岩手山の位置もスペースの問題でちょっと無理をしたのかな。ちょっと変わった三角点の柱石でした。風を避けて東をみれば、北上山地がたおやかに横たわっている。懐深くしんと静謐な山並みに見入るがここは山頂、時間が経過すれば寒さを感じる。SLを交代し下山する。キャンプ場へと続く道は、広々として展望のよいファミリー向け尾根道。風力発電の風車がならび、牧草が連なるのどかな風景を堪能しながら進み広葉樹林を抜けるとキャンプ場にでた。



さあ今日あとお楽しみがピクニック。企画者の熱い思いが伝わった鍋は、実だくさんの汁物。茸採り名人差し入れのキノコに次々と食材をたして味をととのえ熱々を頂きました。10名もの人数になると分量の見立てがとても難しいと思うのですが、それがどんぴしゃり。いい塩梅に腹をみだし幸せな一時を共有しました。買い物・下ごしらえ・荷物の準備一切を和やかになさった小田さん。ありがとう！ありがとう！ありがとう！



物・下ごしらえ・荷物の準備一切を和やかになさった小田さん。ありがとう！ありがとう！ありがとう！

キャンプ場標高1078mから豆腐店450mあたりまで下る。車からの眺めが、何ともいい。目の前には広々とした放牧地が広がり、遠く北上山地の山並みの見晴らしもある。新日本紀行で紹介されたという小山田豆腐屋さんに立寄り、ごつごつした人の手と心を感じる豆腐を購入、トイレ休憩をかね道の駅で野菜を求めた後は、一日満ち足りた満足感いっぱい帰宅の途につきました。



裏妙義山縦走

No.350 木村 一

2018年11月23日(金曜日) 天候 : 快晴

メンバー: CL 木村 一 他 3名(会員外)

御岳登山口駐車場(7:00)～御岳(9:00)～丁須ノ頭(10:15)～箆沢不動の滝(12:40)～御岳登山口駐車場(13:50)



上毛三山の妙義山は奇景奇岩が連続し、その縦走は死亡事故も発生するほどの難所で、表妙義と裏妙義に二分されている。裏妙義を代表する、ひと際目立つ奇岩の北大星や、通称ハンマーヘッドと呼ばれている丁須の頭が存在し、上毛三大奇景と呼ばれる丁須ノ頭の通過は困難を極めるとの評判なので、期待して茨城を前夜出発した。

御岳登山口駐車場でテントを張って仮眠。冬用シュラフなので暖かく眠り、翌朝起床すると裏妙義の山々

が朝日に映えて赤くなり、久しぶりにモルゲンロートを見て登高意欲が高まるのを感じる。

麻苧ノ吊り橋を渡り裏妙義の縦走開始。早速鎖場が出現し裏妙義の洗礼を受ける。登山路には落ち葉が堆積して滑るので、露出している岩に足を置きながら歩を進めると、痩せた稜線の尾根や、鎖場が連続するので面白い。

御岳からは遠くに丁須ノ頭のハンマーヘッドが望まれ、その頂には登山者の姿が見える。

更に歩を進めるが、岩場の急登、痩せた岩稜、連続する鎖場と気が抜けない箇所が続き、道を見失ったと思って頭上を見ると鎖が垂れ下がっていて進路を示している。



やがて、丁須ノ頭に続く岩壁に突き当たり、岩壁基部をトラバースして回り込むと鎖が掛かった岩場が連続して現れ、ここをトラバースすると丁須ノ頭の基部に着いた。



岳登山口駐車場に辿り着いた。

下山後は温泉に入って汗を流し、名物の『峠の釜めし』を味わって帰路についた。

次は表妙義山の縦走路に挑戦したいと目論んでいる

丁須ノ頭への登頂は順番待ちになっているので肩で大休止し、安全の為にロープを付けて丁須ノ頭に攀じ登り、下降時はロープを使用して懸垂下降で基部まで下降した。

下山は笹沢コースを下ったが、最初は一枚岩の鎖場を下降し、落ち葉の積み重なった沢床に降り立った。

落ち葉を掻き分けながら沢沿いに下降し、不動滝の下で大休止して更に下降すると、笹沢コースは最後の最後に梯子&ロープが掛かった嫌らしい場所が出現する、難なくクリアし、御





氷上山 (874.7m)

…光る海を眺めて…

No.421 小田春美

2018年12月2日(日)

天候 : 快晴

参加者 : CL小田(嘉) SL本間・小田(春) 中村(美) 石澤 日比野 熊谷 北田
高橋(陽) 亀田(英) 亀田(金)

行程 : すずらんコース登山口から玉の湯登山口まで9.2kmを5時間歩く

今回、氷上山を歩いて心がほっこりとした。

その1つは好天にめぐまれたこと

冬至に向かうこの時期、遠出の朝は暗い。そしてシンシンとした外気に体が強張る。

「ウン、予報通りの好天だ！」6時30分都南大橋駐車場を出発。

岩手山も朝日を浴びながらエールを送っている。連なる2台の車中はどちらも賑やかに違いない。

無事すずらんコース登山口に到着。予定より30分ほど早い。

空には雲一つなく、心も軽い。前日は強風でかなり寒かったというが、所々に残る霜柱がそれを物語っている。葉っぱの落ちた木に巻かれたピンク色のテープに導かれ、落ち葉を踏みしめながら歩いてゆく。中間点を過ぎたあたりでひと休み。少しの急登を我慢すればもう頂上への分岐だ。

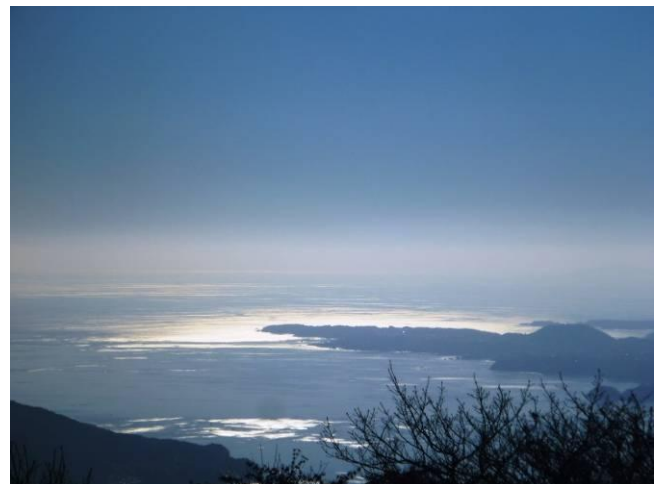
東の御殿と呼ばれるお宮を通り過ぎ11時5分、頂上に着く。

北側に大船渡湾が見える。深い緑色の穏やかな海。そして海辺の家々も静かな佇まいだ。

目を上に向ければ五葉山が懷を広げている。そのまた奥には雪を被った早池峰山。左側には岩手山も見える。南西にはなんと鳥海山だ！360度が私たちのものとなった。

頂上から下りて程なく見晴らしの良い大岩に着く。ここからは陸前高田の街が一望できる。唐桑半島と広田半島に囲まれた海がキラキラ光っている。遠く外海もかすんで見える。海沿いに目をやると音のない景色の中、嵩上げされた土の色だけが続く。「アバッセ」を中心とした街づくりが進んでいるときくが、人口も減っている中での復興はなかなか一筋縄ではいくまい。「がんばれよ」と胸のうちでつぶやく。

絶景に見惚れながら昼食をとる。



その2 出会い

「すずらんコース」を歩く姿は私たちの他には無い。

頂上にあと少しという分岐でようやく他の登山者と出会う。あれっ、ザックを背負ってないぞ、と思っていたら、わがメンバーと何やら親しげに話している。なんと釜石労山の方々だった。「忘年会登山」で15名。私たちが下山時を通る祈禱ヶ原の避難小屋で「おいしいもの」を作っていて交代で頂上を踏んでいるという。

見晴らし大岩からすぐの祈禱ヶ原は氷上山のメイン広場。Nさんは「以前はこんなにススキも大きくなかった」と感慨深げだ。案内板には中央コースと合流する辺りにトイレの表示もある。

ここで少し時間をとっていると避難小屋から釜石労山の方が声をかけてくださった。

なんと汁物や生ガキの大盤振る舞い！ 次から次と生ガキを出してくださり、有難くご馳走になる。柚子の香りの生ガキは本当においしく満腹になりました。

釜石労山の皆さま、心からお礼申し上げます。ごちそうさまでした。

その3 笑顔

すずらんコースの登りよりきつい傾斜を下る。厚く積もった落ち葉の下には石がゴロゴロあったりするので要注意だ。登山道の片側が切れているところもある。

経験の浅いメンバーもいるのでゆっくり歩く。そのKさんはいつもニコニコしている。本当はかなり大変だったのではないかと思われるが、弱音は吐かない。一緒に歩く他のメンバーも優しく見守っている。後日、どの写真を見ても笑顔がいっぱいだった。



玉の湯コースには平成30年に設置した案内板が奇数合毎にある。こちらの方が多く登られているのだろう。

一本杉の手前で車の回収のため男性2名に先行をお願いする。あとはゆっくり歩くだけ。

沢を横切るともう林道だ。

14時 玉の湯温泉に到着。

計画より1時間ほど早く帰途につく。

日の名残りのあるうちに盛岡に到着できたのはうれしい。



おまけ

SLを初体験しました。

少し緊張しましたが皆様のご協力に心からお礼申し上げます。

《報告書》 冬山入門講座 実技講習

平成30年11月18日(日) 晴れ

馬返し登山口 7:20 ⇒登山口 7:40 ⇒1合目 8:30 ⇒3合目 9:10 ⇒4合目 9:40

(ここからピッケル・アイゼン) ⇒ 5合目 10:25 ⇒昼食 11:05/11:30 ⇒下山開始 12:00

⇒馬返し登山口 15:00

当日の岩手山は朝焼けが美しく、オレンジに光って山肌を染め上げていました。参加者13名を馬返しコース駐車場に迎え、講習会は行われました。点呼を取り、各自が持参した冬山道具を並べ、点検からスタート。

アイゼン：各メーカー間の違い、サイズ変更の仕方などの説明を受け、実際の装着。条件のいい場所での装着とは限らないので、平地で十分に練習を積んでおくことが必要と思われた。

カンジキ：アルミと木の装着を実演してもらい、続いて各自が装着した。歩行中のゆるみが出ないようにしっかりと締めることが必要で、ある程度の慣れとコツを習得することがポイントだと思われた。

4合目～5合目を目指し、登攀開始。この時期には、積雪もなく穏やかな天候で、歩きやすい登山となった。すっかり落葉した登山道は、見通しもよく下界の盛岡市が良く見えており、光り輝いていたことを思うと、登山は10月の様相だったと思われる。

4合目に到着し、早速今回の実技講習が始まった。安定した場所を定め、アイゼンを装着した。平地でやるのとは勝手が違い、スムーズにはいかない。これが天候の良くないことを想定すれば、もっと手際よく装着できなければならず、更なる練習が必要と思われた。アイゼンを着け、ピッケルの持ち方を教わり、おずおずと登坂開始。雪氷のない岩場を歩くのは、かなり神経を使い、スローペース。どの形の岩ならば、どのように足をのせれば安定するのか、前爪の使い方などを習得した。合わせて、ピッケルの持ち方、使い場所などより具体的なハウツーを学ぶことができたと思われる。

5合目手前まで登坂し、本日の実技は終了となった。相変わらず参加者の顔触れは、いつもと同じようでしたが、冬場の安全登山を行う上でこのような講習会で事前トレーニングを兼ねるのもいいことだと感じる次第でした。



(遭対部 小原 耕)

《参加者からの感想》 ピッケル・アイゼン講習を受けて

480 竹田真弓

- ① ワカンの着脱方法 : 手際よく行う意味合い、扱いやすい紐の種類など
- ② アイゼンの装着 : 事前に靴合わせをし、調整しておくこと。手早く装着できるよう事前に手袋をして訓練しておくこと
- ③ アイゼン歩行 : フラットに靴底を置く歩行、爪の使い方、足幅を少し広めに
- ④ ピッケルの使い方 : 主に持ち方

今回は基本部分を教えて頂きました。岩場でアイゼンワークを行ったので、いずれ雪山にて実践し習得していたらと思っています。技術、冬山登山の術をご指導いただき、遭対部の皆様ありがとうございました。

交流の広場

12月初めに久々京都に旅行に行きました。あまり行かない場所と思い、天橋立に行ってきました。日本三景の一つと言われており、股のぞきは有名な場所です。日本三景とは、宮島・天橋立・松島です。全て行って判った事は、三景のそばには一宮があるという事です。宮島は巖島神社、天橋立は籠神社（このじんじや：元伊勢）、松島は塩釜神社とあります。何れも美しい場所で神話になりやすく、一宮が生まれたのだと思います。天橋立はビューランド（天橋立駅側）から見ると右側に龍の如く少し曲がって見えます。対岸の笠松公園側は左側に穏やかに美しく見える景色です。この日は雨交じりの天気で、歩いては渡らず、モータボートと遊覧船で優雅に見てきました。平日にも関わらず人混みに埋もれており、休日の賑わいは大変な人混みと推察されます。但し、日本人は半分もいなく、中国人が沢山いました。どこに来てても中国人のパワーに圧倒されてしまうようです。昔は有名な場所にいる程度でしたが、中国人も文化的水準が上がると、色々な場所に行ってみたくなるようです。日本にとっては少しでもインバウンドの効果があればと思います。天橋立から小浜市に向かい、明通寺の紅葉と国宝、三重塔と本堂を見ましたが、この田舎にこれほど立派な物が残っているとは、昔は隆盛を極めていたかも知れません。確かに、若狭の国一宮がある事も事実でした。京都に戻ってくるときに次いで滋賀の湖東三山の一つである西明寺に寄って国宝の三重塔と本堂を見てきましたが、ここは紅葉の真盛りで、紅葉と、苔が大変有名で紅葉と苔が織りなす景色は時代を超え、タイムスリップしたかのような景色でありました。私は山も好きですが、古い建物や街並みを見て回るのも同じくらい好きです。国宝のお城は終わり、五重塔が一つ、三重塔が二つ残すのみとなりました。また近いうちに塔を回る楽しみが増えました。

笠松公園からの天橋立



ビューランドからの天橋立



会報部員のひとこと

パタゴニアブランドは有名であり、皆さんも少なからず持っている方も多いのではないのでしょうか？私も昔は持っていましたが、パタゴニアブランドを調べるうちに買う事もやめ、持っていたものも処分してしまいました。パタゴニアアメリカは反捕鯨団体であるシンシェパード（昔はグリーンピースのとも言われていました。）の活動資金を提供しているとの情報があります。最終的にはパタゴニア自体も認めたようです。一時期の提供と回答していますが、一度あることは二度あるようなので、それ以降、私はパタゴニアブランドの物は買わないようにしております。アメリカは色々な側面を持っている国です。

良い事も悪い事も幅が広く、我々も注意しながら付き合わなければ、ならないのでしょうか。（内堀）

■□ 表紙の言葉 □■

— 「トムラウシ山」 —

トムラウシ山はロングコースで奥深く、花、巨岩が多く、
天上の楽園、「神遊びの庭」と呼ばれる美しい場所があった。

No. 267 中村 数博

あかげら 第361号

2018年12月26日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 渡部彩子

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

■盛岡山友会のホームページ■

http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/
～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に!～